

## 令和6年度 第1回 三ヶ日中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月23日（火） 15時00分から16時40分まで
- 2 場所 三ヶ日中学校 会議室
- 3 出席委員 高橋一浩、渥美浩明、清水一則、岡本和久、寺田祐真、清水久美子、石田義樹、鈴木あゆみ
- 4 欠席委員 御園崇、長坂恭輔
- 5 学校 江間昌史（校長）、宮津宗之（教頭）、岡田充弘（教務主任）、西田光男（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 西田光男
- 8 会長の選出及び指名

司会の宮津教頭から、会長は前年度に引き続き高橋委員が務める旨の報告があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、高橋会長から御園委員を前年度に引き続き副会長に指名する旨の報告があった。

### 9 議長の選出について

司会から、議長の選出について、前年度までと同様に高橋会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1) 令和6年度三ヶ日中学校運営基本方針（いじめ対策基本方針）について
- (2) 「総合的な学習の時間」について
- (3) 夢育やらまいか意見書について
- (4) 今年度の目標の確認

### 11 会議記録

司会の宮津教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 令和6年度三ヶ日中学校運営基本方針（いじめ対策基本方針）について

議長の指示により、江間校長から、別紙資料のグランドデザインに基づき学校運営基本方針及びいじめ対策基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・いじめが発見された場合の対応の仕方に決まりや手順のようなものがあるのか。

（清水久委員）

→いじめの報告を受けて、生徒指導主事が中心となっていじめ対策委員会を開き、校長、教頭を初め、参加が決められている教員が集まり対応を協議することになっている。

- ・学校のクラス数や部活動の数などの基本的な情報を知りたい。

（清水一委員）

→学級数は通常級と発達級合わせて12、部活動の数は13。

- ・現在の生徒のマスク着用率はどれぐらいなのか。また、着用についての学校の指導方針はあるのか。

（岡本委員）

→着用率は半分以下ぐらいだと思われる。最近ではインフルエンザの流行もあり「外しましょう」という指導は行っていない。着用、非着用、どちらの指導も行っていない。給食の時間には、生徒同士で通常の会話をしている。「全員沈黙」という状態ではない。

- 部活動の地域移行の進捗状況について知りたい。(寺田委員)  
→本年度の夏以降に、順次地域に移行していくことになっているが、市内各校それぞれ実態が異なるので、それに合わせて進めることになっている。
  - インフルエンザ等が流行した場合、各部活動の大会参加の可否は学校判断なのかそれとも市教委の取り決め(基準)による判断なのか。(鈴木委員)  
→学校判断が基本だが、できうる限り参加できるようにしていきたい。
  - いじめを知る手立てとしてアンケートを取っているのか。(高橋委員)  
→シャボテンというソフトを活用して、タブレットを通してのアンケートを実施している。アンケート結果はAIによって分析されて、生徒個々の特性に合わせてアプローチしていくことが可能になった。もちろん、それだけでなく、日常の活動や言動を見ながら判断し、適切な対応ができるようにしている。
  - 家庭の問題も分かるようにアンケートも取れるようにするとよい。(渥美委員)
  - そのタブレットによるアンケートは、AIによる進化がさらに期待できる。(岡本委員)
  - 思春期の成長に関する悩みや相談事は、担任の性別によって壁があり、相談しにくいということもあるのではないかと。(高橋委員)  
→各学年の担任には、男女両方の性がいるように配慮している。また、担任だけでなく、学年主任や養護教諭が対応することもある。
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (2)「総合的な学習の時間」について

議長の指示により、教務主任の岡田から、別紙資料に基づき総合的な学習の時間について説明があり、委員へ意見を求めたところ、以下の発言があった。

- 生徒が選ぶテーマは3年間同じなのか。(石田委員)  
→1年生の後期に決定し、3年生まで変わらない。
- 最初は1年生と2,3年生の活動が分かれているが、自分は2,3年生の活動から見ているので、1年生の活動を知る機会がないから、ぜひ知りたいと思う。  
また、活動を進めていく上で必要な人材を発掘していくことが大切だが、どのような人材を各グループが必要としているのかが分からないので、アドバイザー同士の交流も必要。(寺田委員)
- 先程の説明で、環境系をテーマにしているグループは編成を見直したとの話があったが、取り扱うものをアマモ、アサリ、カキに限定しないで、テーマ(目標)を新しくしたらどうか。もう少し広い視点でとらえたテーマを設定し、生徒がアマモ、アサリ、カキだけでなくものを選択するようにしたらよいと思う。(寺田委員)  
→アマモ、アサリ、カキにこだわらず、「猪鼻湖の浄化」にまとめるのはよい。
- グループを「環境」「産業」「観光」という大枠にして、編成し直すのはどうか。そうすれば、例えば「産業」も三ヶ日牛やポテト以外のものも取り上げられるし、「観光」もマリ

ンスポーツ以外のものも取り上げられる。本年度のうちにグループの見直しを考えていけたらよい。  
(寺田委員)

- この学習について、町民への情報発信はしているのか。  
(清水一委員)
- 町民に対しては行っていないが、「三中祭」では、グループで相互に発表し合ったり、町内の6年生を招待して活動内容を紹介したりしている。今後は、町民に向けてSNSなどを活用して伝えていきたい。
- 私が担当している「Sunko」というグループは、各グループの活動内容を紹介する広報誌を作成し、フリーペーパーとして町内にも配布している。  
(寺田委員)
- 私が担当しているグループでは水質浄化だけに焦点を当てて活動しているが、もっと視野を広げて活動していく必要がある。例えば、ただ水をきれいにすることだけでなく、「上流の森を育てる」というような視点も大切で、環境全体を見つめていく活動を考えていきたい。  
(岡本委員)

### (3) 夢育やらまいか意見書について

宮津教頭から別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

### (4) 本年度の目標について

- 中学校の現状を知ってもらうために、町民に向けて情報発信し、より身近に感じてもらうことで、手助けをしようと思っただけのようにしていきたい。  
(岡本委員)
- 学校だよりなどの文書は回覧されているが、全員それに目を通すかどうか、という問題もある。  
(高橋委員)
- SNSなどを通して生徒たちが情報発信していくとよい。生徒たちを後押しできるような組織でありたい。  
(岡本委員)
- SDGsのような活動をしている「総合的な学習の時間」を町民にPRして、その活動を援助できる組織を目指したい。  
(石田委員)
- 生徒を中心にすえて、情報発信をしていきたい。  
(渥美委員)
- 不登校の子供たちにも配慮して活動を進めたい。先生、生徒だけでなく、地域の方々の協力を得て活動していきたい。  
(石田委員)

## 12 報告事項等

高橋会長から、創立50周年式典と三ヶ日中学校同窓会発足についての報告と協力依頼があった。続いて、教頭から学校運営協議会の計画、校長から職員紹介、教務主任から年間行事計画についての連絡があった。

司会から、次回会議は、2024年6月19日(水)12時15分より給食参観、授業参観の後に、三ヶ日中学校会議室で開催する旨の報告があった。